

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



2014.03.25

平成二十六年三月二十五日
 中部保育園
 けいすけ了式

東日本大震災で被災した奇跡の一本松が教えてくれたこと。奇跡の一本松と岩手県陸前高田市にある高田松原は日本百景にも選ばれ風光明媚な景勝地として知られ約ニギハヒにわたる約一キロの白い砂浜には七万本のアカマツやクヌギが生い茂り夏ともなれば毎年約千方の海水浴客が訪れる有数の観光名所として賑わっていました。高田松原は三十九年前の被害に苦しむ農家を助けようと地元の人々が松を植えて防風林として植栽をしたのが始まり以来長い年月を経て今見える自然景観の素晴らしさを観望と敬慕した。



2014.03.25

一本松松が教えてくれたこと。
 夢は実現することだが目的はありますか。度々何かで「一歩ずつ」その力が奪われないか。人は誰れも幸福な人生を送りたいと願いますが明日はこうなるかもしれない。このあたりからかんはれるのでははないか。

▲ 年長最終集合写真



2014.03.25

先生のピアノでありがとうの歌合唱
 夢は実現しはくかもしれない。単なる夢を終わるかもしれない。しかしそれを追いかけていくことが生き甲斐に繋がるのでははないかと思う。やることなすことすべて思いどおりに行かないとき、ともすれば私には捨て鉢の考えになりがちです。でもそこで立ちどまり踏み止まっています。一寸先は光に輝くことが人生には往々にあるのです。

修了証もろってニコリ



2014.03.25



2014.03.25

一生懸命歌う水にありがとう
 ありがとうの歌を子供達が歌うとき